保証の明細

1）保証項目

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の顧客対応ガイドラインに基づき、ご購入の日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗
2年保証	機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障
3年保証	構造体	強度・構造体に係わる破損

※1 保証期間中の製品不具合については、製品又は部品の交換にて対応させていただきます。

※2 保証期間経過後の修理は有料にて承ります。（保証期間終了後の点検・修理責任は製品を所有される方にあります）

※3 保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ●火災、天災による損傷の場合。
- ●使用上の誤りや改造などお客様の責任に帰すると認められた場合。
- ●通常より過酷な使われ方をされた場合。（通常とは一般オフィス等での使用状態を想定）

※4 保証は、通常のお手入れやメンテナンスが行なわれていることが前提となります。

2）修理用部品の保有期間について

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

JOIFA標準使用期間

社団法人 日本オフィス家具協会（JOIFA）では、改正消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。この期間は注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると、摩耗や経年劣化などによる故障が増大することが考えられます。その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用いただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合も有ります。
JOIFA標準使用期間は、製品に貼付されているラベルをご確認ください。詳しくは、JOIFAのホームページをご覧ください。

社団法人 日本オフィス家具協会（JOIFA）
http://www.joifa.or.jp/

アフターサービスについて（有料）

保証期間、標準使用期間終了後も修理により、機能が維持できる場合は有料にて修理を承っています。
早めの点検と修理をご用命ください。
アフターサービス・メンテナンス契約などについてのお問合せは
（株）オカムラサポートアンドサービス
フリーダイヤル 0120-448-105

不要製品の引き取りについて（有料）

不要になった本製品などのお引き取りをご希望の場合は、適正な処理を行なう有料の廃棄物運搬業者と廃棄物処理業者をご紹介いたします。弊社担当窓口までご連絡ください。回収した製品は、適正にリサイクルされます。また、お客様にて廃棄処分する場合は、リサイクルへの配慮と、環境への影響を最小限に抑える工夫をしていただきますようお願いいたします。

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所　オフィス製品部

ホームページアドレス	http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ・ご相談は お客様サービスセンターへ	フリーダイヤル 0120-81-9060 受付時間 9:00～17:20（土・日・祝日を除く）

G96802
2012-09

Baron

Ergonomic Mesh Chair［バロン］

取扱説明書

このたびはオカムラ製品〈バロン〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書は〈バロン〉を正しくご使用いただくためのガイドブックです。ご使用前に本書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。また常にお手元においてご使用されることをお勧めいたします。

okamura

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

〈絵表示について〉

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意	この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

⚠注意

●乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。

荷物をのせて台車がわりにしますと、転倒等による事故や荷物の落下による危険性があります。また、イスの上で立ち上がったり、座面の前縁部や肘に腰掛けたりしないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

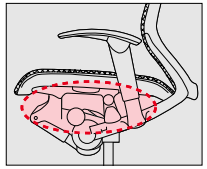
●分解・修理について

特に、座の昇降装置（ガススプリング）には高圧ガスが封入されており、異常を発見された場合、お客様での分解、修理などは大変危険ですので、必ず弊社販売窓口にご連絡ください。

●改造について

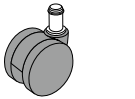
お客様での改造は、故障や安全上問題となることがあります。その場合の責任は弊社として負いかねます。改造が必要な場合は事前に弊社販売窓口にご相談ください。

●座裏のリクライニング可動部のスキマには指や手をはさまれないようにご注意ください。

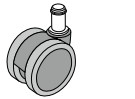


●Pタイルの床には

タイルの床では、ナイロンキャスターは滑りすぎて転倒する恐れがありますので、ウレタンキャスターをご使用ください。ナイロンキャスターは、じゅうたん・カーペット等の床に適しています。



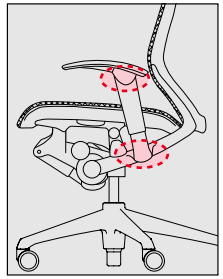
ナイロンキャスター（標準）



ウレタンキャスター（特注）

●アジャストアーム使用上の注意

アジャストアームの位置調節を行なう場合には、可動部のスキマやパッド部裏面に指や手、衣服等をはさまれないようにご注意ください。また、肘が確実に固定されていることを確認してからご使用ください。



設置の際のお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

屋内でのご使用をお願いいたします。

●屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

●窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

水平を保つように設置してください。

●設置するときは、必ず本体を水平に保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。

適切な換気の励行に関するお願い

●購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行なうようにしてください。

●室内が著しく高温多湿となる場合（温度28°C、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

末永くお使いいただくためのお願い

●使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず早めの増締めをしてください。

●湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。

●この取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。

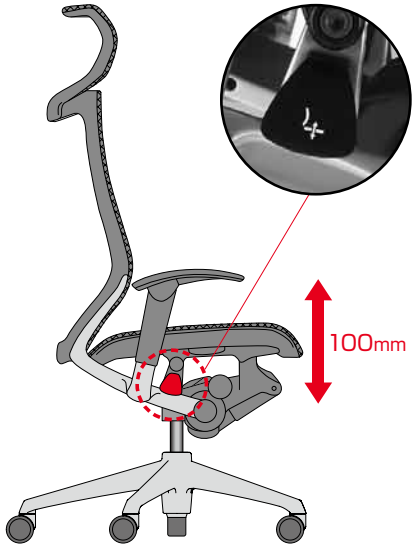
●こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理（有償）を弊社にご用命ください。

●樹脂部のお手入れ

日常のお手入れは硬く絞ったやわらかい布などで、こまめに拭いてください。著しく汚れた場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り洗剤が残らないように水拭きした後、乾いたやわらかい布で空拭きしてください。

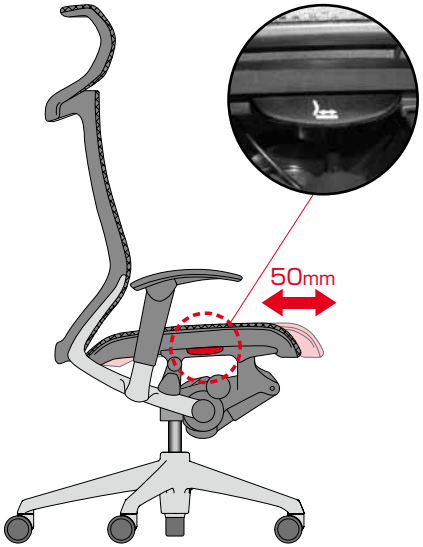
●メッシュ材・クッション部のお手入れ

メッシュ部を手ではたいた後、電気掃除機でホコリを吸い取ってください。また、クッション部はクリーニングできませんので、著しく汚れた場合は新しいクッション部と交換することをお勧めします。



座の上下調節

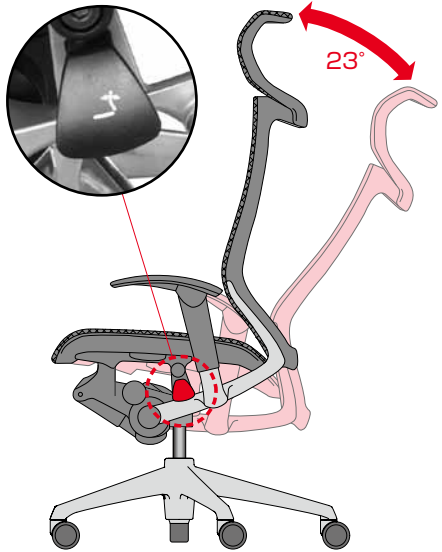
座右下の上下調整レバーにより操作を行なえます。体重をかけた状態でレバーを引くと座は下がり、レバーを放すと任意の位置で固定されます。座を上げるときは、レバーを引きながら腰を浮かせてください。

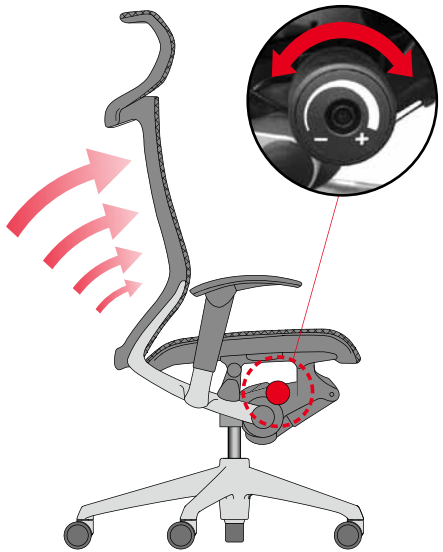


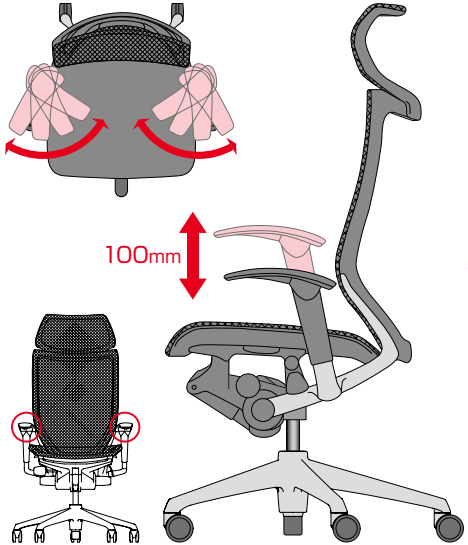
座の奥行き調節

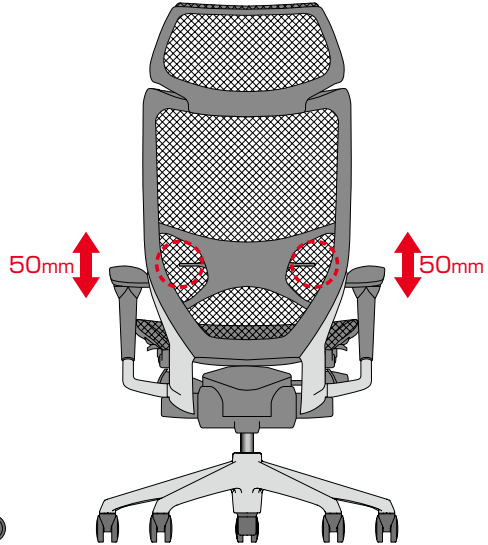
腰を軽く浮かせた状態で、座の下側左右側面にある座面スライドレバーを同時に引き上げながら、座面を持ち上げるようにして操作してください。奥行きが決まったらレバーを放してください。

※調整後は確実に固定されているかを確かめてからご使用ください。









リクライニングの固定/解除

座左下のリクライニング調整レバーを引くことで調節できます。背に寄りかかり、傾いた位置でレバーを一回引くと背は固定されます。もう一度引くと解除され、フリーな状態に戻ります。

リクライニングの調整

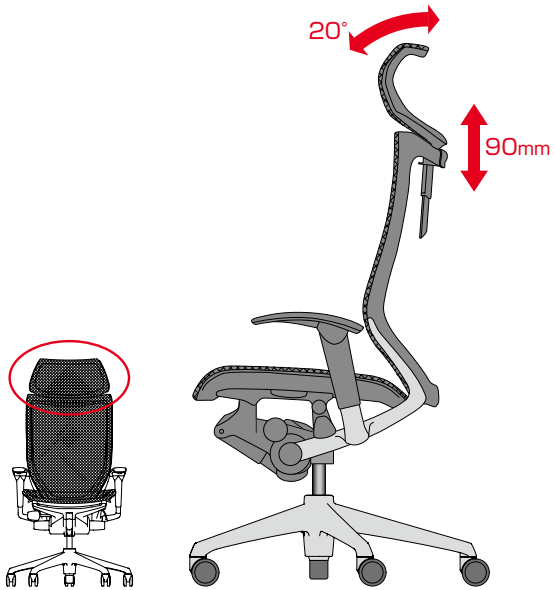
座右下のリクライニング強弱調整ハンドルを「+」方向に回すとリクライニングの背当て反発力が強くなります。「−」方向に回すと弱くなります。座る人の体格や好みに合わせて調節してください。

アジャスト肘の上下・角度調節

肘本体はパッド部分を持ち上げることで高さを変更できます。パッド部分を最上段まで持ち上げると、一番低い状態に戻せます。また、肘パッドは用途に合わせ外側（30°）と内側（60°）に角度を調節できます。

ランバーサポート（オプション）の調節

着座した状態で両手を背もたれの裏側に回し、背中を背もたれから少し浮かせた状態で、両側の操作レバーを持って上下させます。



ヘッドレストの調節（可動ヘッドレストタイプのみ）

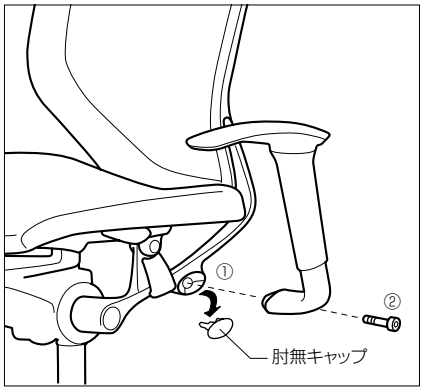
着座したまま操作する場合は、ヘッドレストの両側を両手で持ち、高さと角度を調節します。

肘の取付交換方法

①肘無キャップをマイナスドライバー等で取り外します。

②同封のボルト1本（片側）で肘を横から固定します。
（使用工具:六角レンチ 対辺6mm）

③取付部にガタツキがないか確認します。

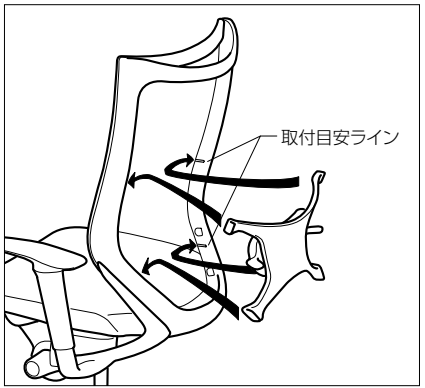


ランバーサポート（オプション）の取付交換方法

①イスの後ろ側から背フレームの枠の間にランバーサポートを内側にたわませながら入れ込みます。

②ランバーサポートの4ヶ所の爪を、背フレーム内側の溝に取り付けます。取り付け位置は、取付目安ラインを参考にしてください。

③4ヶ所の爪が溝に入ったところで手前に引き、完全に溝にはまるように取り付けます。完全にはまると「カチッ」と音がします。



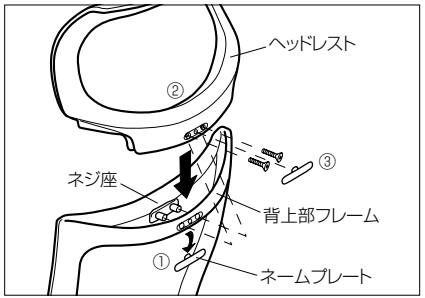
固定ヘッドレストの取付交換方法

①背上部フレームについているネームプレートを、マイナスドライバー等を用いて取り外します。

②ヘッドレストを背上部フレームに3つの穴位置を合わせて、上から差し込むようにして取り付けます。しっかりと差し込まれていることを確認してください。

③付属のネジ座を背上部フレームの裏側の穴にはめ込み、付属のビス2本でヘッドレストを固定します。ヘッドレストにネームプレートを取り付けます。

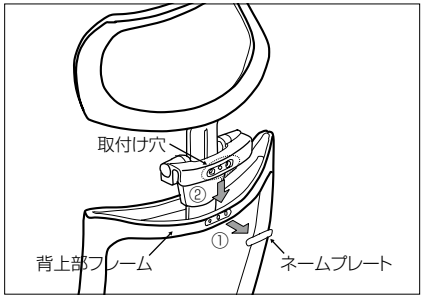
④ガタツキがないか確認します。



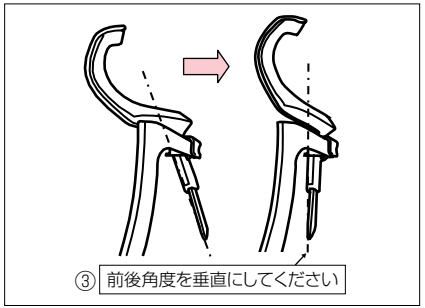
可動ヘッドレストの取付交換方法

①背上部フレームについているネームプレートを、マイナスドライバー等を用いて取り外します。

②ヘッドレストを背上部フレームに3つの穴位置を合わせて、上から差し込むようにして取り付けます。しっかりと差し込まれていることを確認してください。



③ヘッドレストの角度を調節します。

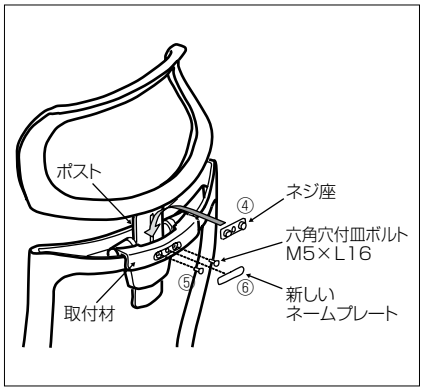


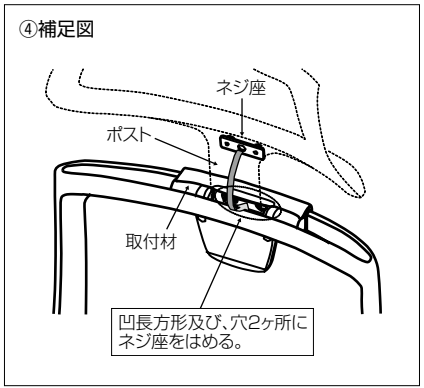
可動ヘッドレストの取付交換方法（続き）

④ヘッドレストの上下位置を数段上に上げた状態で、ネジ座を取付材とポストの隙間に入れ、取付材裏側の凹部にはめ込みます。

⑤付属の短い方（16mm）の六角穴付ボルト2本にて、ヘッドレストを固定します。

⑥ネームプレートを取り付けてください。

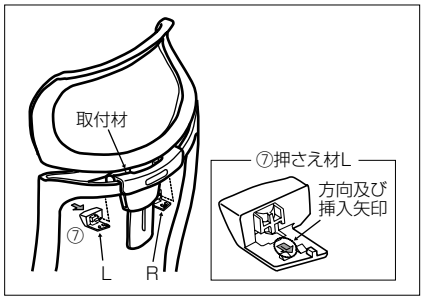




可動ヘッドレストの取付交換方法（続き）

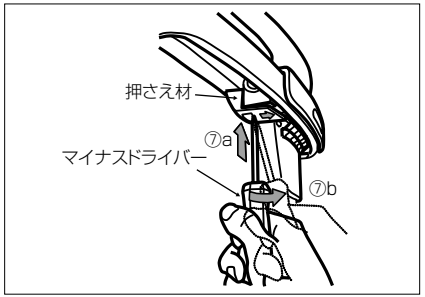
⑦押え材を表記してある「R」・「L」の方向、矢印の向きに注意しながら、取付材の裏側にある四角穴へ挿入します。手で握るようにしてパチンと音がするまで挿入してください。

※手で握ってパチンと音がしない場合は、マイナスドライバーを使用してしっかりとはめ込んでください。

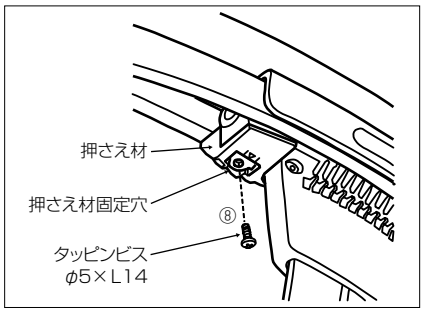


⑦a：マイナスドライバーの先端を、押さえ材の「I▽I」標記部（⑧図参照）にある四角穴に、1㎝以内の深さで挿します。

⑦b：ドライバーの柄を手前に動かし、「パチン」と音がするまで押さえ材を手前に引いてください。



⑧付属のタッピンビスを押さえ材固定穴にネジ込み、押さえ材を固定します。



ハンガー（オプション）の取付交換方法

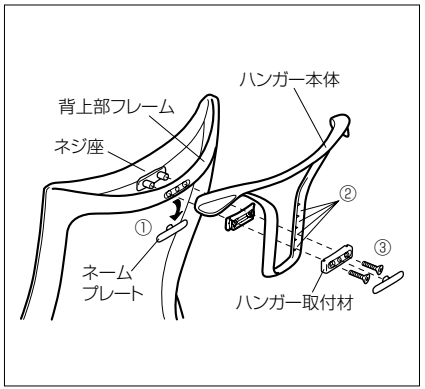
●ローバック・ハイバックの場合

①背上部フレームからネームプレートを、マイナスドライバー等を用いて取り外します。

②ハンガー本体の左右の溝で取り付け高さ（4段階）を調節します。ローバックの場合は最下部、ハイバックの場合は最上部に取り付けるのが目安です。リクライニング時に、上着のすそをキャスターで巻き込まないように取り付け高さには十分注意してください。

③ハンガー本体を取付材とネジ座で挟み込むようにして、ハンガーに付属の短い方（25mm）のビス2本で固定します。ハンガー取付材にネームプレートを取り付けます。

④ガタツキがないか確認します。



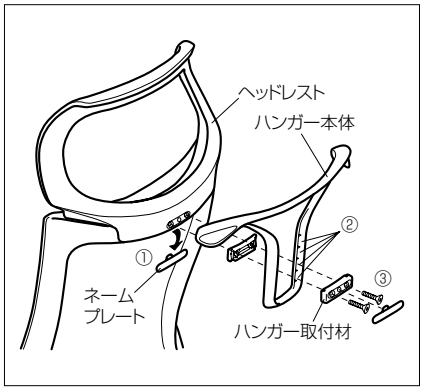
●エクストラハイバックの場合

①背上部フレームからネームプレートを、マイナスドライバー等を用いて取り外します。

②ハンガー本体の左右の溝で取り付け高さ（4段階）を調節します。ローバックの場合は最下部、ハイバックの場合は最上部に取り付けるのが目安です。リクライニング時に、上着のすそをキャスターで巻き込まないように取り付け高さには十分注意してください。

③ハンガー本体を取付材とヘッドレストのネジ座で挟み込むようにして先ほど外したビス2本で固定します。可動ヘッドレストの場合は、ハンガーに付属の長い方（35mm）のビスを使用してください。ハンガー取付材にネームプレートを取り付けます。

④ガタツキがないか確認します。



「故障かな？」と思う前にご確認ください。

不具合内容	確認事項	対処方法	参照ページ
座が上がらない	座に体重を掛けたまま操作していませんか?	腰を浮かせた状態で操作してください。	4
	座の位置が一番上の状態になっていませんか?	上限以下の高さでご使用ください。	4
座が下がらない	座の前方に腰掛けた状態で操作していませんか?	座の中央部分に体重を掛け操作してください。	4
	座の位置が一番下の状態になっていませんか?	下限以上の高さでご使用ください。	4
座の前後調整が動かない	座に体重を掛けたまま操作していませんか?	腰を浮かせた状態で操作してください。	4
強弱調節ダイヤルが回らない	背もたれにロックがかかり、動かない状態になっていませんか?	左肘レバーを操作して、寄りかかると背もたれが動くフリーの状態にしてください。	5
背が動かない	座左下部のレバーが固定状態に設定されていませんか?	レバーを上にあげて、背当てに寄りかかってください。	5
	座裏のリクライニング強弱調節ハンドルが強（前方向⊕の状態)になっていませんか?	座裏のリクライニング強弱調節ハンドルを後方向（⊖)に回して調節してください。	5
肘が下がらない 肘の左右高さが違う	(6ページの操作方法をご確認ください)	肘を最上段まで引き上げると、最下段まで下がります。次に肘を引き上げて高さ調節をしてください。	6
キャスターの転がりが悪い	キャスターに異物（糸くずや毛糸など）がからみついていませんか?	異物を取り除くか、新しいキャスターと交換してください。	販売店または弊社営業担当まで
キャスターが転がりすぎる	Pタイルなどハードな床でナイロンキャスターを使用していませんか?	ウレタンキャスターに交換することをお勧めします。	
異音がする	床がPタイルもしくはフローリングなどの硬い仕上げですか?	お買い求めの販売店または支店にご相談ください。	

主な材質

部　位		主 な 材 質
構造部材	脚･フレーム	アルミダイキャスト
	背座シェル	ポリアミド 〉PA〈
	アームレスト	パッド：ポリウレタン 〉TPU〈 カバー：ポリプロピレン 〉PP〈
クッション	座/クッションタイプ	ポリウレタン 〉PU〈
メッシュ材	背座	ポリエステル

※〉○○〈 は部品への材質表示を示しています。リサイクルにお役立てください。
※製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

製品コードラベル

本製品には製品コードなどを記載した製品コードラベルが貼ってあります。
お問い合わせや同一製品を再注文される際にご確認ください。